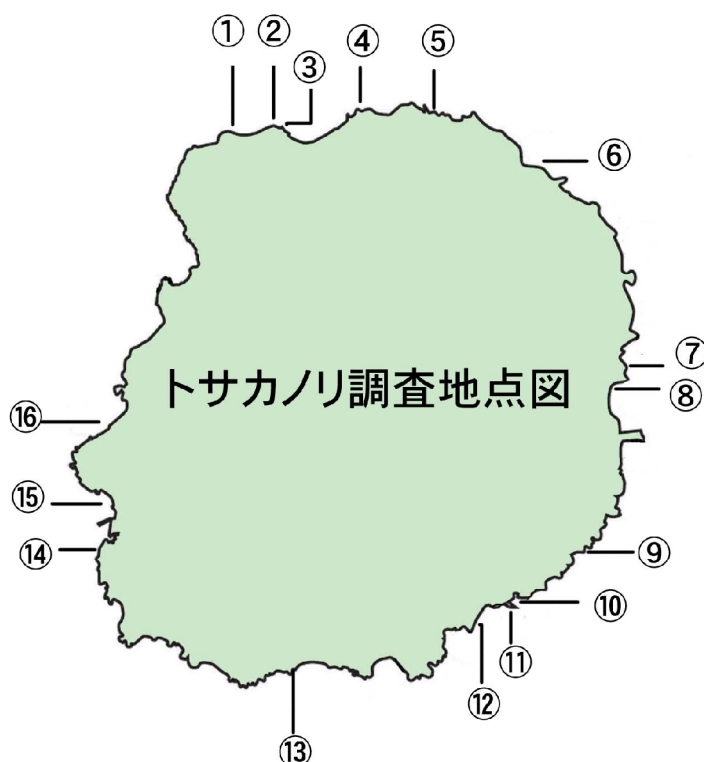


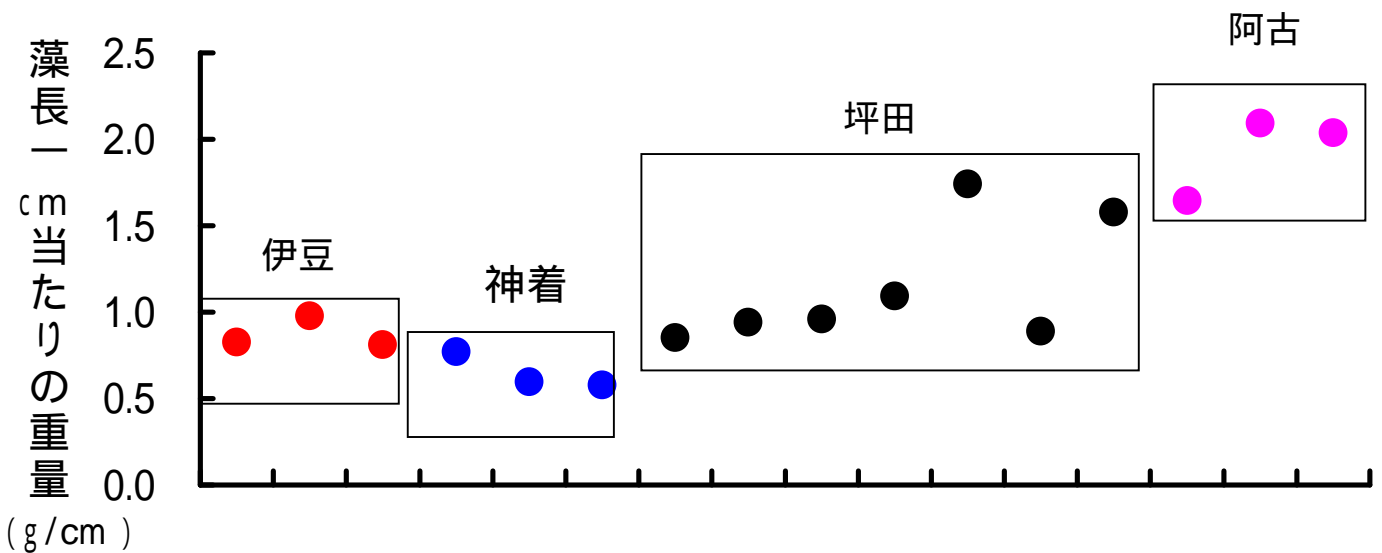
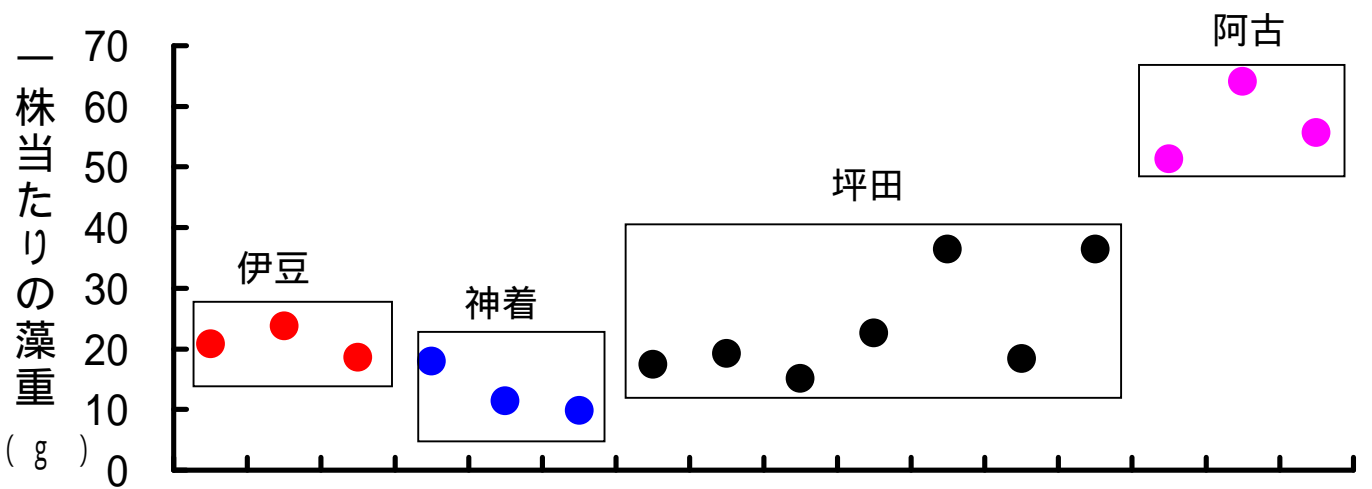
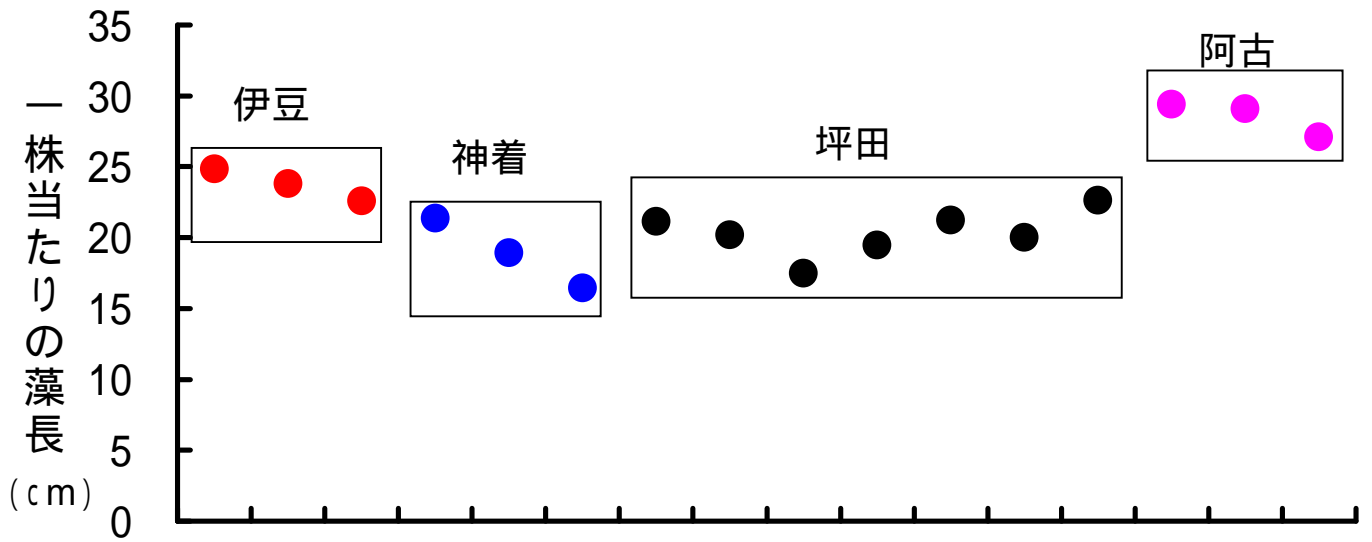
三宅島トサカノリ調査結果(4/28-29実施)

東京都島しょ農林水産総合センター大島事業所

漁場番号	地区	漁場	藻長(cm)	藻重(g)	藻重/藻長	生育量
	伊豆	学校下の西側	24.8	20.8	0.8	伊豆地区の ~ では、 が 少なかったが、 と は同じくら いであった。今回調査した中で は、生育量は平均的であった。
	伊豆	学校下	23.8	23.7	1.0	
	伊豆	大久保浜の西側	22.6	18.6	0.8	
	神着	大崎	21.4	18.0	0.8	今回調査した中では、神着地 区が最も生育量が少なかった。 特に、 と は今回調査した中 では最も生育量が少なかった。
	神着	湯の浜漁港の東側	18.9	11.4	0.6	
	神着	アカアナの南側	16.4	9.8	0.6	
	坪田	オオハシ	21.1	17.4	0.9	坪田地区は ~ のいずれも 今回調査した中では、生育量 は平均位であった。比較的、南 に行くにしたがって、藻長が長 く、ふさふさしているものが多い 傾向がみられた。
	坪田	三池浜の北側	20.2	19.2	0.9	
	坪田	コーボー浜の前	17.5	15.1	1.0	
	坪田	坪田漁港の北側	19.5	22.6	1.1	
	坪田	坪田漁港の前	21.2	36.4	1.7	
	坪田	長太郎池の前	20.0	18.4	0.9	
	坪田	立根浜の南側	22.6	36.4	1.6	
	阿古	阿古漁港の南側	29.4	51.3	1.6	今回調査した中では、阿古地 区が最も生育量が多かった。ま た、藻体も長く、重量も大きかっ た。
	阿古	錆が浜	29.1	64.1	2.1	
	阿古	阿古カマニワ	27.1	55.7	2.0	



- ・今回の調査では、阿古地区が最も生育量が良好で、神着地区の生育状態が悪かった。
- ・坪田地区と伊豆地区は平均的な生育量であった。
- ・トサカノリ漁場では、ヒラクサは多くみられたが、マクサはほとんどみられなかった。
- ・ の漁場では大型のサザエが多くみられた。
- ・「カタ」と「カタ」の間隙間には切れたトサカノリが多数溜まっていた。
- ・調査前には、北東側の強風が数日続いたため、その影響で神着地区のトサカノリが切れた可能性もある。
- ・漁協への報告には各漁場を撮影したビデオテープも提供した。



漁場番号

調査員: 滝尾健二
 川辺勝俊(とりまとめ)
 駒澤一郎
 向山常比古
 備 船: 英丸(山田順一船長)